



尾西から一宮へ —活動エリアを広げ見えてきたこと—

平成24年度在宅医療連携拠点事業

一宮ハート・ギュッと・ネット

愛知県一宮市 医療法人 井上内科クリニック

一宮市と旧尾西地区

	総人口	65歳以上人口	高齢化率	独居率 (65歳以上人口中)
一宮市	386,390	85,531	22.1%	5.48%
旧尾西市	59,768	13,955	23.3%	5.60%



平成24年4月1日現在

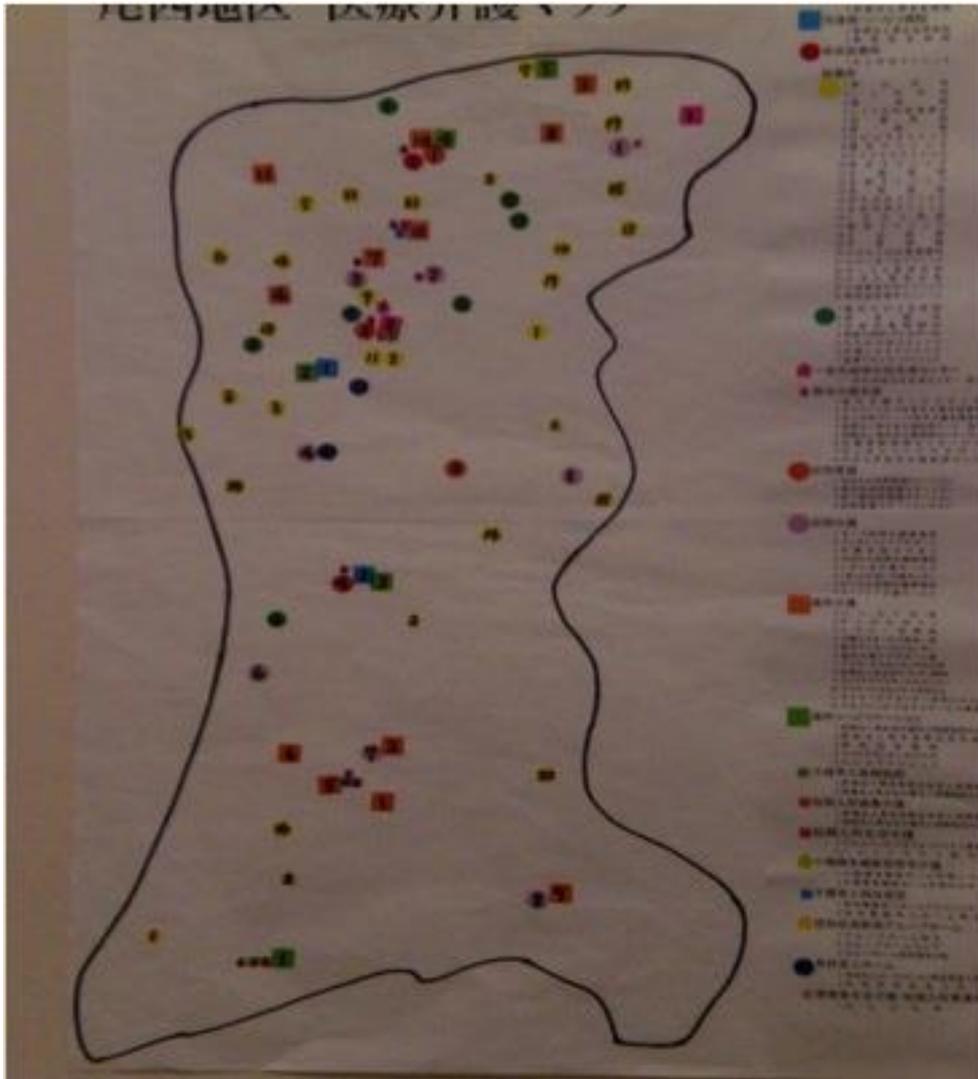
尾西地区は

泰玄会地域包括支援センター
のカバーエリア

一宮市と同程度の高齢化率
高齢者の独居率

事業エリアを主として
旧尾西地区に

医療介護資源調査



- 旧尾西地区の南部は田畑が多く、診療所や介護施設が中心部に集中している
- デイサービスなどの施設は多いが、医療依存度の高い方が利用できる施設は少ない

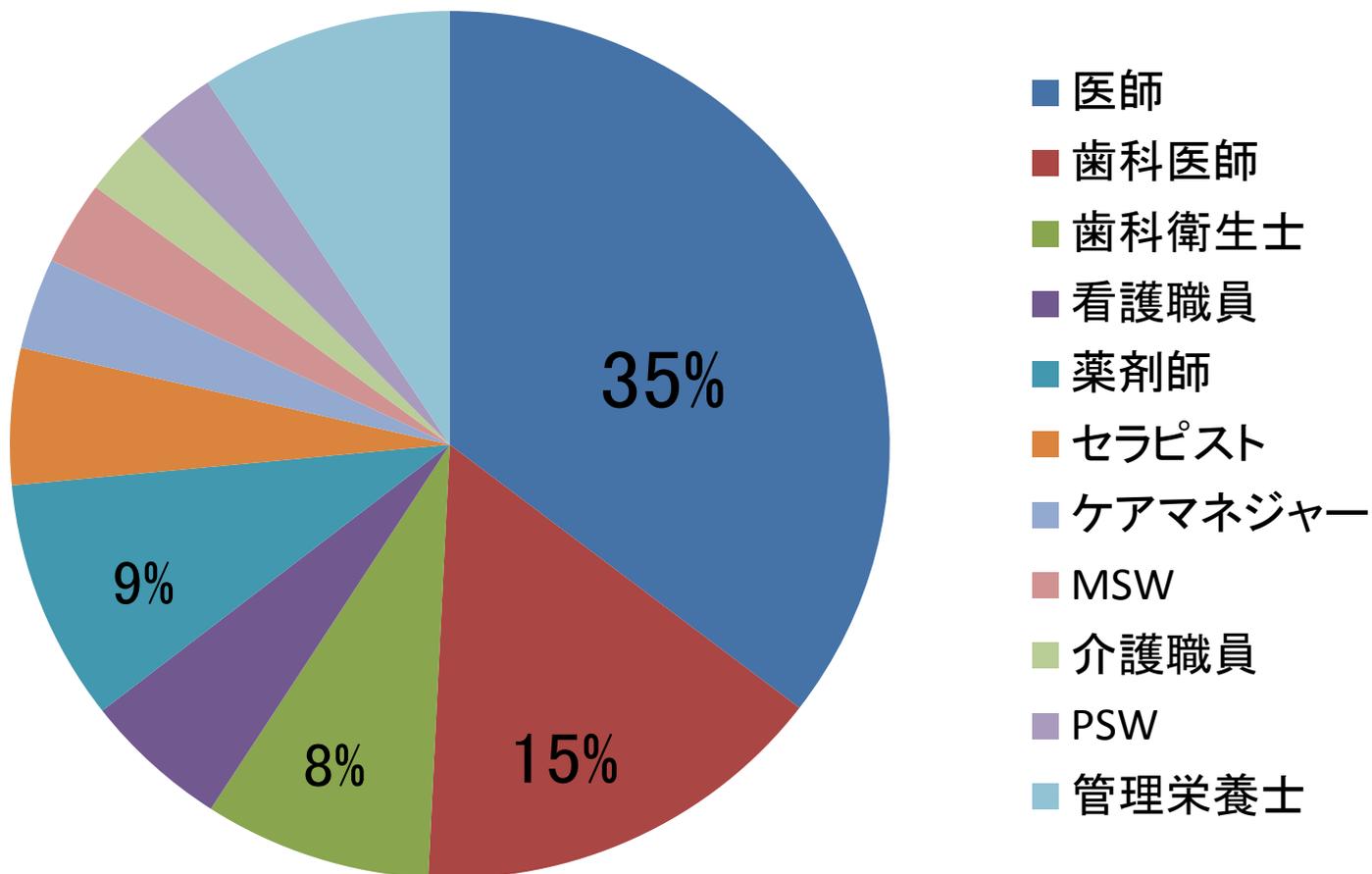
資料1.尾西地区の関連施設

急性期病院	2
回復期・リハビリ病院	2
有床診療所	2
診療所	32
地域包括支援センター	1
居宅介護支援	8
訪問看護	4
訪問介護	8
通所介護	12
通所リハビリテーション	5
介護老人保健施設	2
短期入所療養介護	2
小規模多機能型居宅介護	2
介護老人福祉施設	2
認知症高齢者グループホーム	2
有料老人ホーム	2
障害者生活介護・短期入所事業所	1

在宅医療に関するアンケート調査

- 目的:在宅医療を進めていく上で、地域における連携上の課題抽出と解決策検討
 - 対象:病院、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ST、地域包括支援センター、介護保険事業所等
 - 時期:平成24年6月16日～8月31日
 - 結果:822部配布、468部回収
- (アンケートは平成23年度在宅医療連携拠点事業において社会医療法人長崎記念病院地域連携室作成のものを許可を得て改変し使用)

資料2.Q.在宅医療を進めていく上で 連携を取ることが難しい職種はどこか



資料3. Q.連携を進めていく上で地域における 連携上の課題と思われる事は何か。

- 医療機関からの介護職や事業所に対する接遇が横柄なため医療との連携を取ろうとしてもこちらが全てにおいて受容しなくてはならないことが多々ある。
- 私たちも疾患の理解が必要だと思うが、お互いの理解不足が課題だと思う。
- お互いの職種に対する理解を深め本人(患者/利用者)に対する支援者という意味において対等な立場で連携して行けるようにすることが課題だと思う。
- 顔の見える連携には集まりの場を作ってもらえると嬉しいです。

心理的障壁



障壁を読み解く 二つの鍵





1対1
教える—学ぶ



1対多
指示する—従う



1対1
敵対的

関係面



1対多
教える—学ぶ



1対1対1
協力的



1対1
友好的



「CTで、軽度の肺炎像に加え、
胸水も認め、抗生剤DIV等で
治療を開始しました。」
「その後、顔面、両上肢のED認め、
補液調整し様子を見ました。」

月	火	水	木	金	土	日
デイサービス	ヘルパー	デイケア	訪問看護	デイサービス	ヘルパー	家族介護
介護・入浴・送迎	身体介護(30分から1時間未満)を昼・夕方2回利用	機能訓練・入浴・送迎	30分から1時間未満	介護・入浴・送迎	身体介護(30分から1時間未満)を昼・夕方2回利用	
9,510円	8,040円	10,450円	8,300円	9,510円	8,040円	

ケアプランの立て方

難解な医療用語

内容面



医学的な情報

介護支援専門員証



登録番号 12345678

氏名 いぬ わんこ

生年月日 昭和〇〇年11月〇〇日

住所 兵庫県西宮市浜甲子園
〇丁目△番□号

交付年月日 平成〇〇年△月□日

有効期間満了日 平成〇〇年△月〇日

上記の者は介護支援専門員であることを証明する。

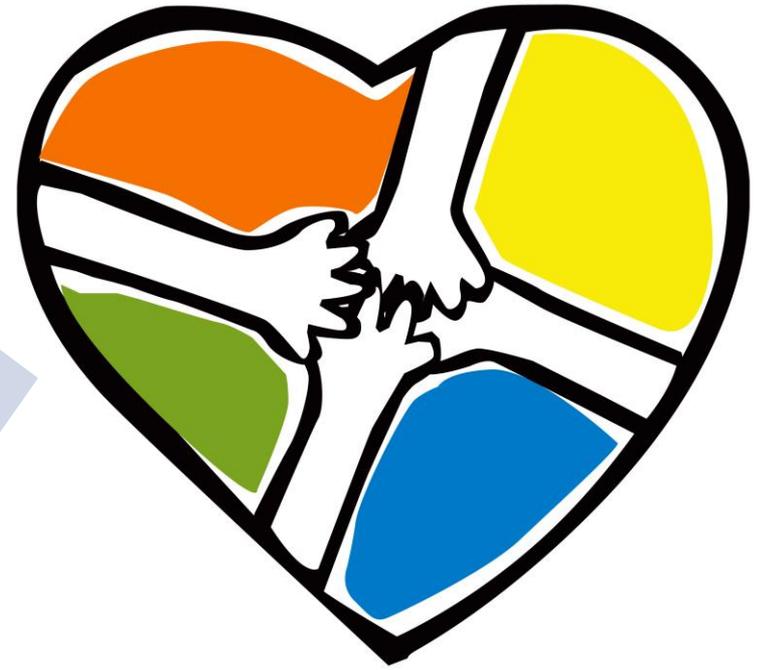
〇〇〇知事

知事印

ケアマネの仕事内容



顔の見えない関係



● **第3回研修会**

多職種実践

● **第2回研修会**

**コミュニケーションの
内容面**

● **第1回研修会**

**コミュニケーションの関
係面**

多職種連携教育

(Interprofessional Education: IPE)

資料4. Interprofessional collaboration in practice and education is an innovative strategy.

- Interprofessional practice (IPP) strengthens health systems and improve health outcomes.
- Effective interprofessional education (IPE) enables effective interprofessional practice.

(WHO. 2010.)

資料5.What is IPP and IPE?



- IPP

- Collaborative practice happens when **multiple health workers from different professional backgrounds work together** with patient.

- IPE

- Interprofessional education occurs when **students from two or more professions learn about, and with each other** to enable effective collaboration and improve health outcomes.

(WHO. 2010.)

資料6.第1回研修会

- 8月12日(土) 14時～17時
尾西グリーンプラザ
- 名古屋大学大学院医学系研究
科 阿部恵子先生
- 「この態度、怖くありませんか？
聴き方、話し方で介護現場がもっ
と楽しくなる」
- 参加者:45名
- アンケート結果(一部抜粋)
 - 職場での活用度
役に立つと思う 95%
 - 多職種とのコミュニケーション
について理解できた 86%

市	2
包括	3
看護師	8
薬剤師	1
PT	1
OT	1
介護職	16
ケアマネ	11
ワーカー	2
合計	45名

資料7.第2回研修会

- 11月17日(土)13時～17時
一宮地場産業ファッションデザインセンター
- 名古屋大学大学院医学系研究科 阿部恵子先生
- 「お医者さん・看護師さんに気軽に聞いてみよう！」
- 参加者：41名
- アンケート結果(一部抜粋)
 - 職場での活用度
役に立つと思う 68%
 - 多職種とのコミュニケーション
について理解できた 90%

医師	1
看護師	12
ワーカー	7
ケアマネ	15
介護士	6
合計	41名

資料8.第3回研修会

- 2月21日(木)18:30～20:00
一宮地場産業ファッションデザインセンター
- 揖斐郡北西部地域医療センター
センター長 吉村 学先生
- 「ごちゃまぜ研修会@一宮」
- 参加者:107名
- アンケート結果(一部抜粋)
 - 他職種の業務内容、思いなどについて理解しているか(5段階評価)
実習前 3.0→実習後 3.7
 - 満足度評価(10段階評価)
7.4

医師	14
歯科医師	9
薬剤師	14
看護師	13
PT	3
OT	1
ワーカー	7
ケアマネ	39
学生	4
その他	3
合計	107名

資料9.TEIQue-SF,チームワークチェックリスト

TEIQue-SF 日本語版

Trait EI (Trait Emotional Intelligence) 質問票は心の知能指数とも呼ばれ、心の情動について幅広く評価するために作られたものです。下記の各項目に対してもっとも適切な番号に○をつけてください。項目の意味を考えるのに良い時間をかけず、**第一印象で全問に対しテキパキと答えて下さい**。正しいとか間違っているという解答はありません。全く同意しない(1番)から全く同意する(7番)まで各項目に対して7段階の選択肢があります。

1.....2.....3.....4.....5.....6.....7
全く同意しない 全く同意する

1. 感情を言葉で表すことは私にとって問題ない	1	2	3	4	5	6	7
2. 他の人の視点で物事をみることは難しいと思う	1	2	3	4	5	6	7
3. 私は結構やる気満々の人間だと思う	1	2	3	4	5	6	7
4. 自分の感情をコントロールすることは難しいと感じる	1	2	3	4	5	6	7
5. 私は大抵が楽しいと感じない	1	2	3	4	5	6	7
6. 私は交渉がうまいと思う	1	2	3	4	5	6	7
7. よく気分が変わるほうである	1	2	3	4	5	6	7
8. 自分がどんな感情を抱いているのか自分でも理解できないことがある	1	2	3	4	5	6	7
9. 私はたくさん良い性質(素質)を持っていると感じる	1	2	3	4	5	6	7
10. 自分の権利を主張することが難しいと感じる	1	2	3	4	5	6	7
11. 私はふつう他人の感情に影響を与えることができる	1	2	3	4	5	6	7
12. ほとんどのことに対して建設的な見方をしている	1	2	3	4	5	6	7
13. 周りの人たちは私が彼らを正しく扱っていないとよく不満を言う	1	2	3	4	5	6	7
14. 状況の変化で自分の生活を合わせることを難しいと感じることが多い	1	2	3	4	5	6	7
15. ストレスをうまく対処できる	1	2	3	4	5	6	7
16. 自分の親しい人に愛情を示すことが難しいと感じる	1	2	3	4	5	6	7
17. 相手の立場に立って考えることができ、相手の感情を自分のことのように経験できる	1	2	3	4	5	6	7
18. やる気を維持することは難しいと感じる	1	2	3	4	5	6	7
19. 自分が誰かば自分の感情をコントロールする方法を見つけ出すことができる	1	2	3	4	5	6	7
20. 自分の人並に喜びを感じている	1	2	3	4	5	6	7
21. 自分自身を交渉上手だと言うことができる	1	2	3	4	5	6	7
22. 彼らになってあげたいと思うことに巻き込まれる傾向がある	1	2	3	4	5	6	7
23. 私はよく立ち止まって、自分の気持ちについて見つめることがしばしばある	1	2	3	4	5	6	7
24. 自分が個人的な振りに満ちあふれていると思う	1	2	3	4	5	6	7
25. たまたま自分が正しいと知っていても、自分を抑えてしまう傾向にある	1	2	3	4	5	6	7
26. 他の人の感情に影響を与える力は全くないと思う	1	2	3	4	5	6	7
27. 人生の中でいろいろな事がうまく行くだろうと思っている	1	2	3	4	5	6	7
28. 自分の身近な人ときえ良い関係を作ることを難しいと感じる	1	2	3	4	5	6	7
29. 新しい環境に適応する事ができる	1	2	3	4	5	6	7
30. 私がいつもリラックスしている状態に対して周りの人は感心している	1	2	3	4	5	6	7

チームワーク チェックリスト

年 月 日 学部: 学年: 年齢: 性別:

チームワーク時の自分の行動に関する下記の質問に対してもっとも適切な番号に○をつけてください。正しいとか間違っているという解答はありません。全く同意しない(1番)から強く同意する(7番)まで各項目に対して7段階の選択肢があります。意味が分かり難いと思う質問はNAにレ点を打ってください。

	全く同意しない	強く同意する	NA				
1. 人に言われる前に自分から行動することが多い。	1	2	3	4	5	6	7
2. グループで何かをする時、誰かがやってくれるだろうと思う。(R)	1	2	3	4	5	6	7
3. みんなで決めたことは最後まで責任を持ってやる。	1	2	3	4	5	6	7
4. 人の話をよく聞く。	1	2	3	4	5	6	7
5. グループで何かをする時、積極的に関わる。	1	2	3	4	5	6	7
6. 自分の役割を常に意識して行動する。	1	2	3	4	5	6	7
7. チームにおける自分の役割がよくわからないことがある。(R)	1	2	3	4	5	6	7
8. 専門によって使う言葉が違うことを知っている。	1	2	3	4	5	6	7
9. チームの他の人の役割を知らなくても問題ないと思う。(R)	1	2	3	4	5	6	7
10. 自分の行動が正しかったかを常に振り返る。	1	2	3	4	5	6	7
11. チームの雰囲気は左右される (R)	1	2	3	4	5	6	7
12. 複雑な意見を分かりやすく伝えることができる。	1	2	3	4	5	6	7
13. チームの話し合い中、分からないことがあってもそのまま聞き流す。(R)	1	2	3	4	5	6	7
14. 自信がないと自分の意見を言えなくなる。(R)	1	2	3	4	5	6	7
15. 他の人が言った意見を尊重する。	1	2	3	4	5	6	7
16. 複数の人と協力して何かをすることが苦手である。(R)	1	2	3	4	5	6	7
17. 対立が起きそうな時、そうならないように働きかける。	1	2	3	4	5	6	7
18. 他の人から学ぶことが多い。	1	2	3	4	5	6	7
19. グループで話し合う時、人間関係を重視する。	1	2	3	4	5	6	7
20. 人がどう思うかと自分の意見を貫く。(R)	1	2	3	4	5	6	7

(R) の計算 = 8 - 回答数

1～5の合計	／3.5点	高いほど積極性がある
6～10の合計	／3.5点	高いほどチームにおける役割理解がある
11～14の合計	／2.8点	高いほどアサーションがある
15～20の合計	／4.2点	高いほど協調性がある

資料10.Emotional Intelligence and team work

Team Work

- Valuing and appreciating
- Compromising
- Peacekeeping

(Hammick M et al. *Medical Teacher*, 2009; 31: 4.)

Communication

- Negotiation and conflict resolution
- Listen to others/team members

(Thistlethwaite J, and Moran M. *J Interprof Care*, 2010; 24: 511.)

EI

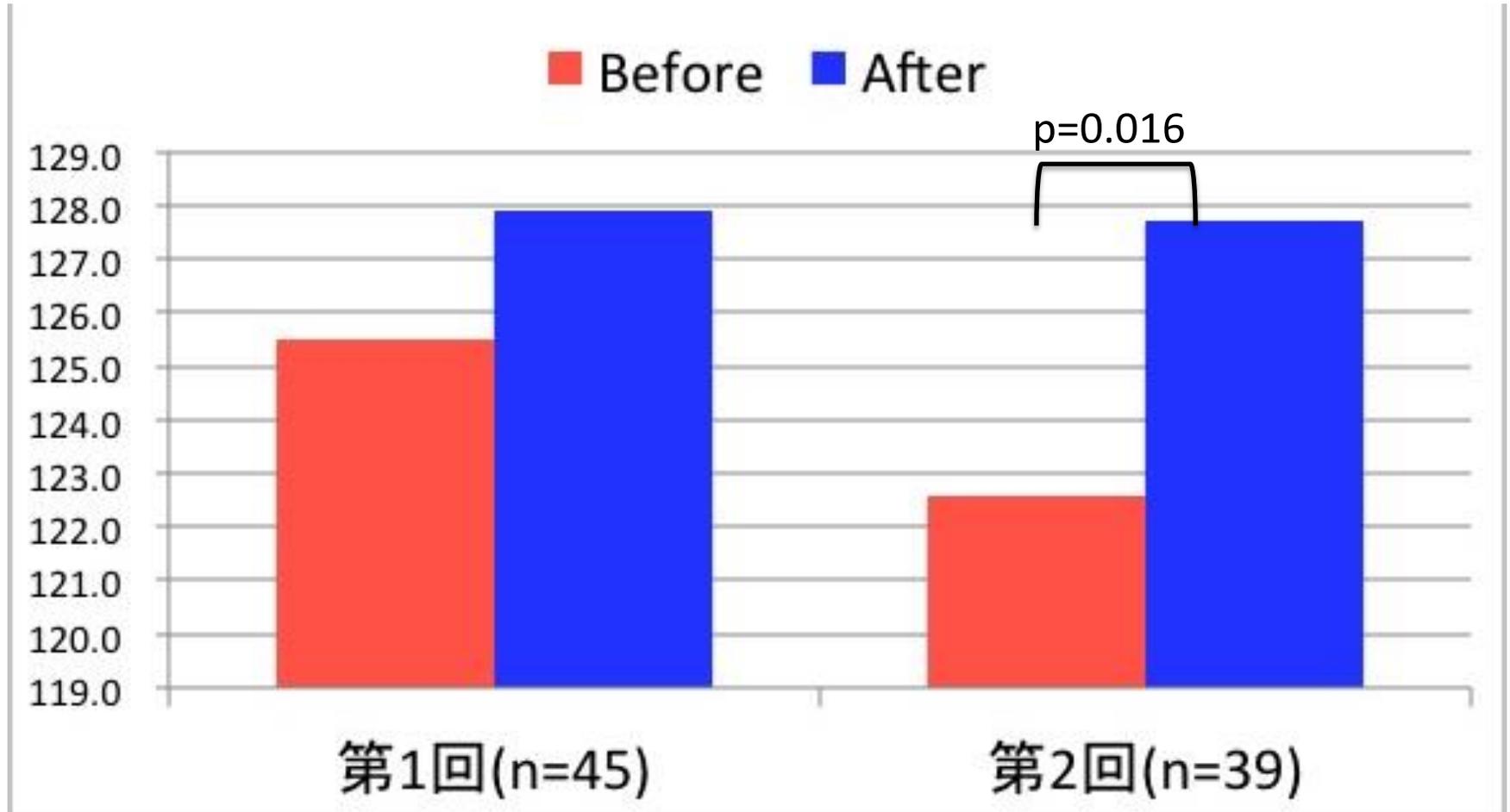
- a set of abilities (verbal and non-verbal) that **enables a person to generate, recognize, express, understand and evaluate their own and others' emotions**
- in order to guide thinking and action and **successfully cope with environmental demands and pressures**

(Rooy D, and Viswesvaran C. *J Vocat Behav*, 2004; 65: 71-95.)



顔の見える関係

資料11.TEIQue-SF得点の変化



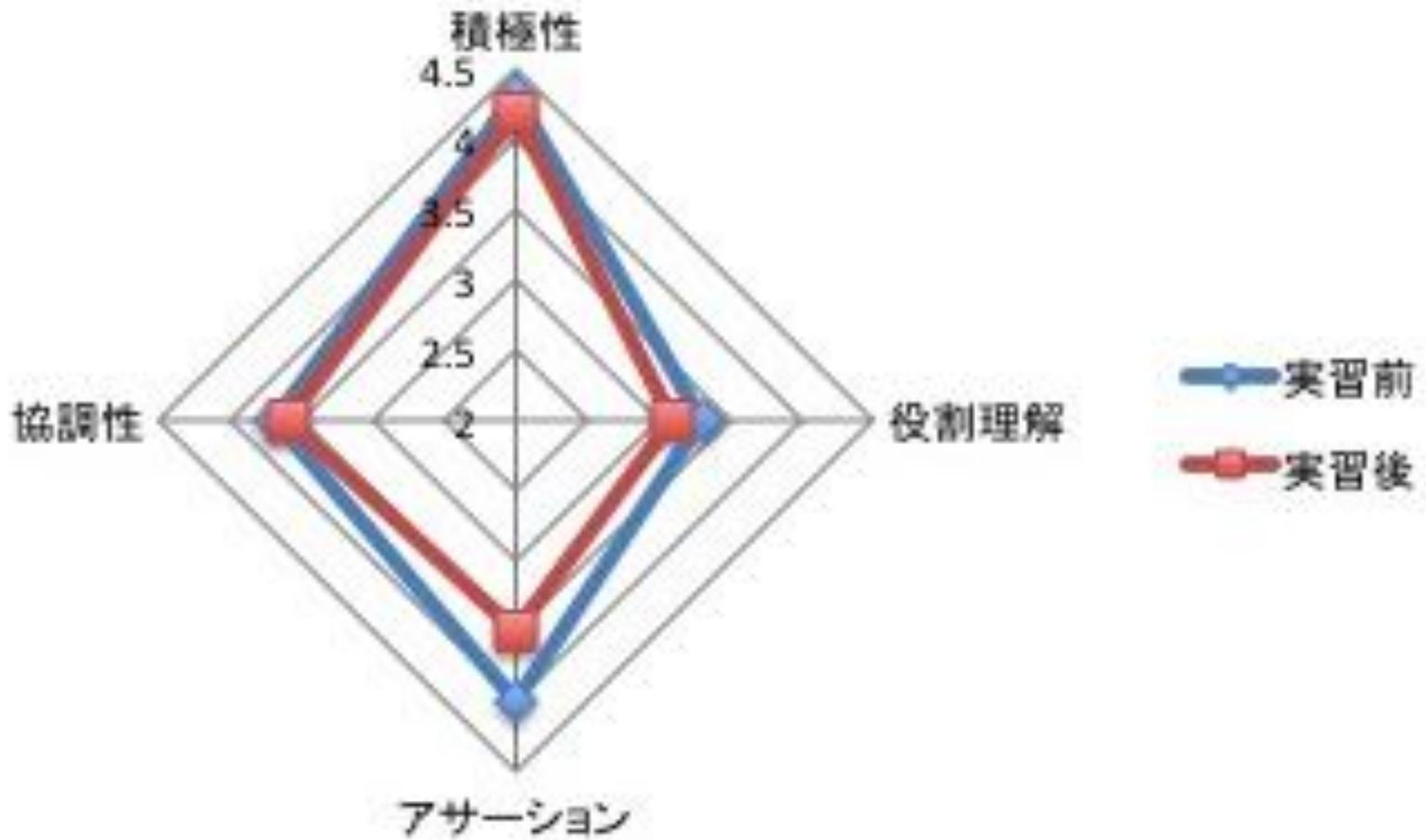


EIの上昇

自他の感情を客観的に
把握し状況に上手く適応

チーム活動に
必要な資質の獲得

資料12.チームワークチェックリストの変化



職種毎のニーズに合わせた

事前教育



アサーティブネス



協調性



積極性

資料13.第1,2回職種別参加者数

第1回研修会

市	2
包括	3
看護師	8
薬剤師	1
PT	1
OT	1
介護職	16
ケアマネ	11
ワーカー	2
合計	45名

第2回研修会

医師	1
看護師	12
ワーカー	7
ケアマネ	15
介護士	6
合計	41名

資料14.第1回診診連携会議 (一宮西部在宅医療の会)

- 平成24年11月27日(火) 20時 一宮西病院大会議室3F
- 参加者：2病院、17診療所
(医師、地域連携室ワーカー、合計29名)
- 抽出された問題点
 - 訪問診療を行っている診療所が少ない。
 - 24時間体制という言葉への不安がある。
 - 待機する精神的なストレスがある。
 - 今は、まだ入院も出来るし、困っていない。

資料15.第2,3回診診連携会議

第2回診診連携会議

- 平成24年12月18日(火) 20時 泰玄会病院会議室2F
- 参加者:2病院、13診療所、2訪問ステーション
(医師17名、看護師2名、地域連携室ワーカー3名)
- 勉強会:在宅療養支援診療所(従来型、強化型)について

第3回診診連携会議

- 平成25年1月29日(火) 20時 真清田神社参殿
- 参加者:2病院、12診療所(医師14名、地域連携室ワーカー3名)
- 講演:一宮市の在宅で認知症患者を診るための課題
 - 「BPSDの理解と対応」
いまいせ心療センター 認知症センター 水野 裕先生
 - 「在宅医療の推進について」
井上内科クリニック院長
井上 雅樹
- 認知症の方への、初期対応や家族へのアドバイス等を学ぶ

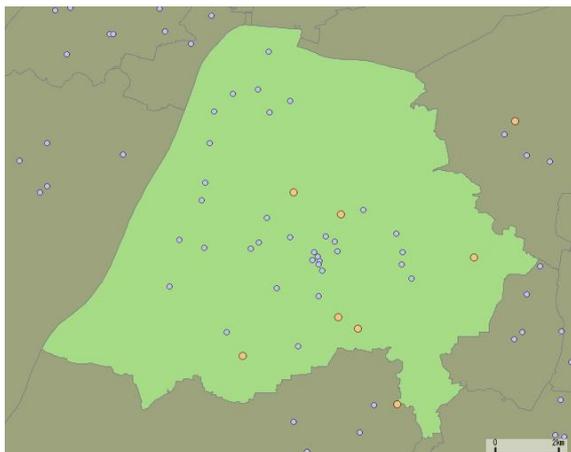


24時間365日体制か・・・
病院勤務時代の生活に戻るの・・・

外来が多いから
わざわざ往診しなくても・・・

尾西地区から

一宮市へ
呼びかけ



仙台往診クリニック「在宅療養支援MAP」

<http://www.tcs-cc.co.jp/maps/shienmap/23/23203.html>

(2013/03/08アクセス)

まとめ

- IPE実習により顔の見える関係を構築
- IPE実習はチーム活動に必要な資質を涵養
- 問題解決型グループワークがより効果的
- 職種のニーズに合わせた事前教育をすることがよりIPEの効果を高める可能性
- 中学校区というエリアに拘らずより広いエリアで活動することがよい場合も有り得る

今後の展望

- 人口40万人の一宮市全域を対象に活動
- 人口、高齢化率、面積等が似ている千葉県柏市のプロジェクトを参考に
- 今年度当事業所で行った活動のうち、IPE、ケアマネ連絡帳の作成等を、尾西地区以外の地区で広めていく
- そのために一宮市の各地区で中心を担いうる医療機関などと連携していく
- 今年度行えなかった同行研修、学生同行研修、地域住民との対話の場として「みんなくるカフェ」の実施

その他の活動

- ケアマネ連絡帳の作成
- 在宅医療Q&Aの作成、配布
- 市、市医師会と協力し市民向けシンポジウムを開催
- 病診連携のための勉強会
- 県内医学部学生の研修会受け入れ